

付着細胞へのインジェクション

浮遊細胞では知られているナリシゲ製品ですが、付着細胞でも使用されています！

今回は付着細胞へのインジェクションについてご紹介いたします。

◆◆ 付着細胞とは ◆◆

付着細胞(粘着細胞)とは、浮遊している細胞とは違い、ペトリディッシュ(シャーレ)等に付着しています。そのため、浮遊細胞へのインジェクションと付着細胞へのインジェクションでは、マニピュレーターの組み合わせが異なります。

◆◆ 付着細胞用マニピュレーター ◆◆

付着細胞へのインジェクションは、浮遊細胞のようにホールド用のマニピュレーターは必要ありません。インジェクションを行う側のマニピュレーターをご用意頂ければ結構です。

<ここでポイント！>

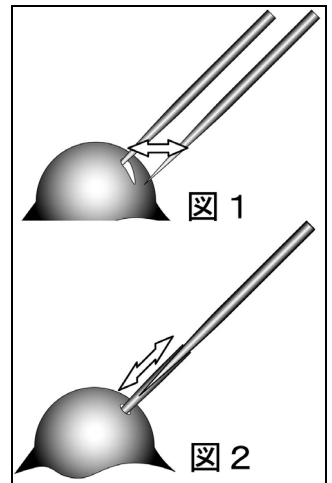
ペトリディッシュ(シャーレ)等の底面に固定されている状態の細胞へインジェクションする場合、斜めのピペットを平行移動させてインジェクションを行うと傷口が大きくなってしまい、細胞に大きなダメージを与えてしまいます。(図1参照)

そこで、ピペットと同一方向へ動くT軸を搭載させる事で、インジェクションを行った際の傷口を最小限に抑える事が出来ます。(図2参照)

T軸を搭載させる為の代表的な製品には、MMO-220Aがあります。

また、案外知られていませんが、MWS-1AやYOU-1等にはもともとT軸機能が搭載されています。用途に合わせて製品をお選び下さい。

※T軸の追加や製品選択の際にご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。



<ここで豆知識>

インジェクションを行う対象物が比較的大きい場合(アフリカツメガエルやメダカの卵等)固定方法を工夫することによって浮遊細胞でも付着細胞と同様に、インジェクションを行う側にマニピュレーターを用意するだけで作業を行うことが出来ます。固定の方法として様々な工夫がありますが、その代表例をご紹介します。

